

投擲的な相互支援を組織する 香港・中国南部の東アフリカ系住民による組合活動を事例に

小川さやか（立命館大学）

本発表では、香港・中国広州市在住のアフリカ系居住者たちが、出身国や言語、宗教（宗派）および「アフリカ人性」を基盤として重層的な組合をアジア諸国とアフリカ諸国とをつないで結成していることを明らかにし、彼らの組合運営の論理と実践の特質を市民社会論と認知資本主義をめぐる議論との接点から考察することを目的とする。

中国市場への玄関口である香港には、コピー商品や中古品を含む様々な中国製品を購入し、母国へと輸出するため世界各地から交易人たちが集まる。特にチョンキンマンションと呼ばれる、安宿と商業施設がテナントとして入った複合ビルには、様々な国籍の交易人や仲介業者、難民、亡命者、旅行者が居住している。香港に長期滞在している者たちは、不測の事態における相互支援やビジネスのための情報交換、ホスト社会とのコンフリクトの仲裁等を目的として、出身国や言語、宗教（宗派）、「アフリカ（人）」を基盤とする組合を結成しており、各組合は互いに連携しながら、異なる局面で異なる役割を果たす。

香港在住のタンザニア人たちは、2013年に香港タンザニア組合を発足させた。香港タンザニア組合は、中国南部の広州市を基盤とするタンザニア広州組合や、タンザニアに帰国した元香港・中国在住者を基盤とする組合、さらにマカオやマレーシア、タイなどにおけるタンザニア人コミュニティとも連携し、不測の事態にはアジア諸国に点在するタンザニア人たちから寄付を集めている。また2016年には、香港タンザニア組合とウガンダ人組合とケニア人組合との連携が模索され、香港東アフリカ組合が結成された。東アフリカ組合は、ケニア、ウガンダ、タンザニアの各組合長が持ち回りで代表を勤め、香港において東アフリカ系住民が抱える共通した困難を解決するとともに、香港の西アフリカ系住民たちの組合、チョンキンマンションで商売する南アジア系住民の組合、イスラーム教など宗教を基盤とする組合との間の相互交流や利害関係の調整などを実施する。

このようにアジア諸国と中東、アフリカ諸国に点在するタンザニア人組合、香港・中国の異なる国籍や宗教を基盤とする組合をつないで活動する香港タンザニア組合は、市民社会組織に関する議論が重視してきた相互信頼や一般的な互酬性では動いていない（cf. エドワーズ 2008:39-40, 88-101）。

香港タンザニア組合の中心メンバーには、難民や亡命者、不法滞在者、違法な売春婦やドラッグ密売者な

どが数多く含まれ、多くのメンバーが多かれ少なかれ法に抵触しているため、互いに恒常的な「信頼」を置くことは難しい。アジア諸国とアフリカ諸国を流動的に行き来している交易人の中には、香港・中国の投機的な市場で商売に失敗して二度と戻ってこない者が多数おり、経済力にも開きがあるため、各メンバーに等しい貢献を互酬的に期待するのも難しい。さらに国籍やエスニシティ、宗派の異なる彼らの間には、ビジネスや相互扶助において異なった規範や文化的慣行が広くみられる。

このような不透明性・不安定性・流動性・異質性が高い人々が連携し、そのつどの支援を回していく実践的な論理を考察するために、本発表では、ICTやAIの発展とともに注目されるようになった認知資本主義の議論を参照する。認知資本主義は、人々の認知活動が特定の知識の消費や交換へと動員され、分有／共有されることで蓄積され、そうして蓄積された知識が「一般的知性」となり、循環的に活用されていくことで進展していく（cf. 山本 2016）。例えば、料理法のサイトでは、ユーザーはそれぞれが開拓した料理法や情報を投稿する。その際に料理の技能は問題にならない。投稿された料理法や情報は、アクセス数や星印、他のユーザーのコメントによって序列化され、より好まれる料理法が多くの人々によって試され、改良され、誰でも利用できる知識へと変容していくためである。

香港・中国の越境的で不定形な組合活動でも、様々なSNSと電子マネーによるクラウドファンディングが活用されている。組合員たちはそれらのSNSに「支援の求め」や「相互支援のアイデア」を自由に投げる。そして特定の要請や相互支援のアイデアを叶えることできる資源や能力、情報を持つ人々が応答するのを待つ。こうした「投擲的」な支援の働きかけとそれに対する応答にメンバーをいかに動員し、組織するかにおいて、それぞれの組合には独自の実践と論理が展開している。

本発表では、投擲的な相互支援を組織する香港のアフリカ系住民たちの実践とそれを支える論理を明らかにすることで、メンバー間の強固な信頼や互酬性に対する期待なしに組合運営をしていく仕組みを明らかにする。

<参考文献>

- エドワード、マイケル 2008『「市民社会」とは何か—21世紀のより善い世界を求めて』麗澤大学出版会
山本泰三 2016『認知資本主義—21世紀のポリティカルエコノミー』ナカニシヤ書店

キーワード 認知資本主義、香港、アフリカ系移民、ICT、市民社会組織